

熊本国際交流振興事業団

多文化共創ボランティアラーニングオンラインフォローアップ学習会

新型コロナウイルス感染症流行で偏見・差別を経験して

ハンセン病から学び、
未来に向けて私たちがめざすこと

小野 友道

オンラインZOOMミーティング：2025年10月29日

自己紹介 小野友道(オノ・トモミチ)

皮膚科医： 皮膚病 差別の温床 正常皮膚でも差別の対象

熊本県人権教育・啓発推進委員会委員

熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会

熊本県医師会倫理委員会 委員

医師でありながらコロナに罹った(高齢者、糖尿病内服治療中)

専門的に人権問題や差別について研究していない素人

現在、熊本市国際交流振興事業団 理事長

人権について考える前に

まず差別や偏見の対象となる相手・病気・環境などなど

私たちは、これら相手を正しく理解しているか、を自ら問いただすことから
(正しい情報を得るのは困難だが)

いくらかでも理解したのち、相手とどう立ち向かうかを **自ら考えてほしい**。
同調圧力の一員になるな

理解できていないのに、無意識(あるいは善意のうちに)に迷惑(差・偏見)を

- ・水俣病が恐ろしいのは**遺伝**すること（胎児性水俣病） 家計教師のトライ
- ・水俣病やハンセン病は**感染症** 熊本県宇城市配布のカレンダー

天然痘(痘瘡)は遺伝する

天然痘には先天性の例がある

原因:**ウイルス** 先天性≠遺伝性

梅毒は遺伝する

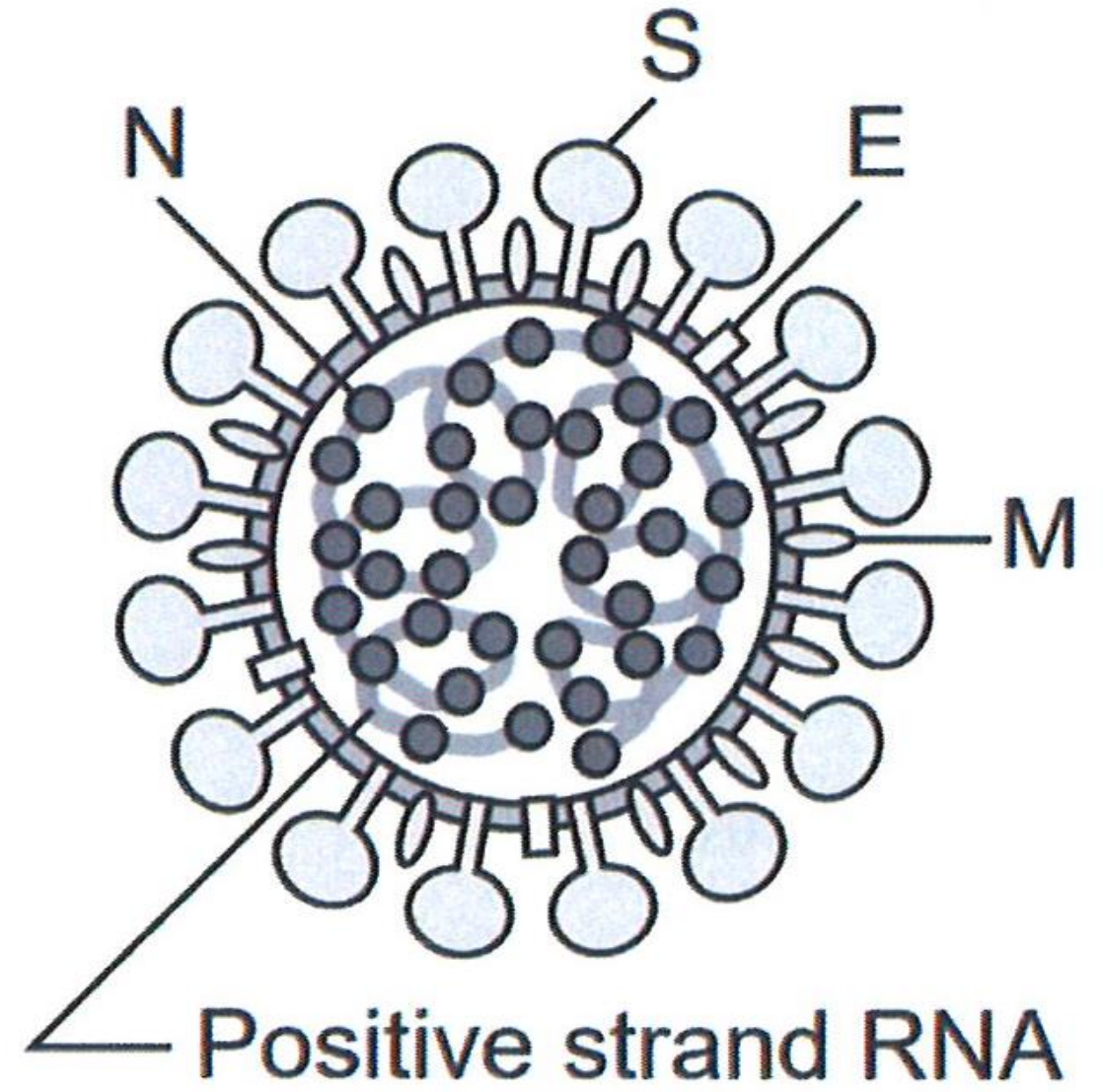
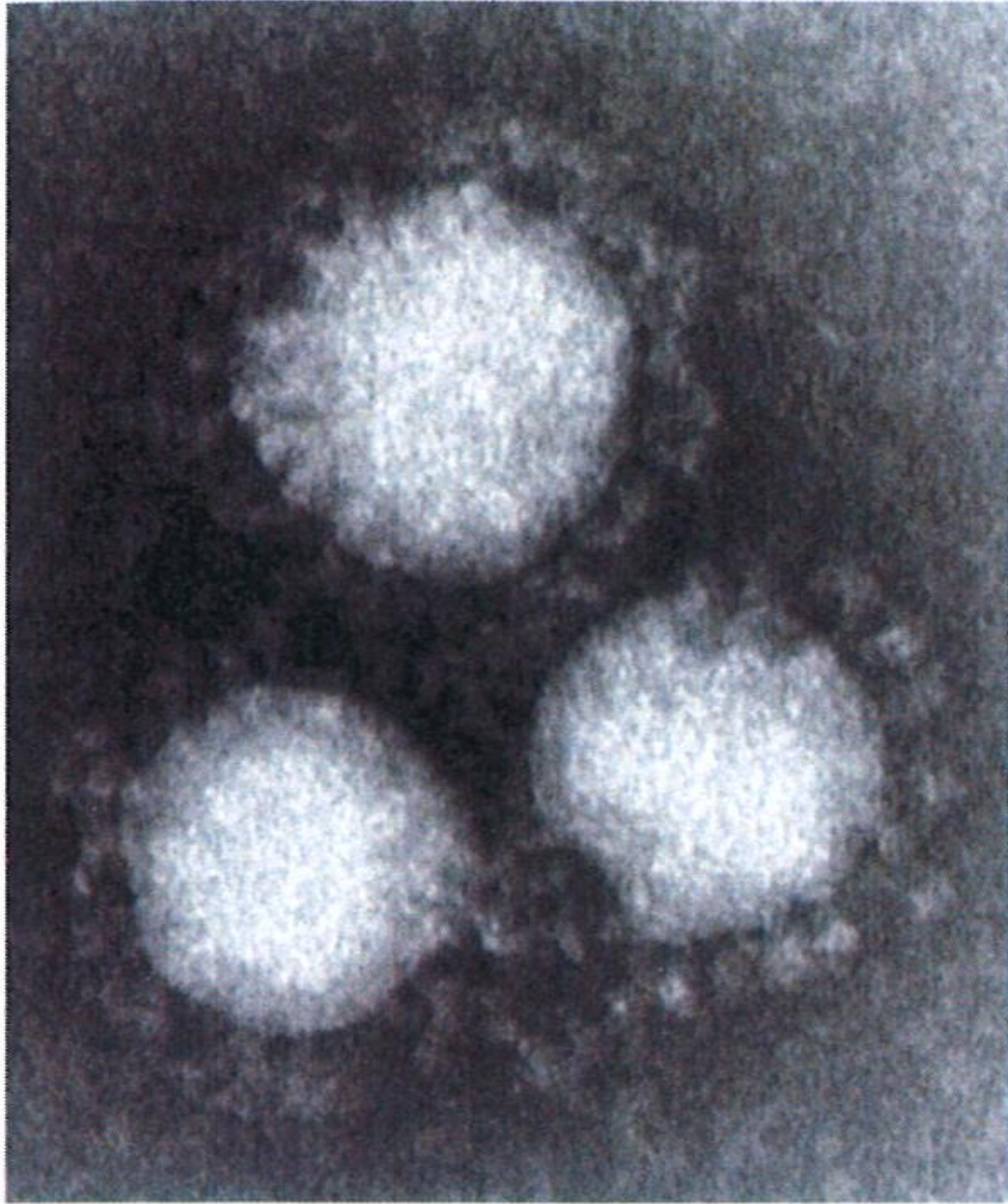
梅毒には先天性の例がある

原因:**スピロヘーター**(胎盤を通過する)

ハンセン病は遺伝する

ハンセン病は先天性の例がある

原因:**らい菌**による感染症 ただし感染症法にその病名はない
(学問的には感染症、法的には感染症ではない)

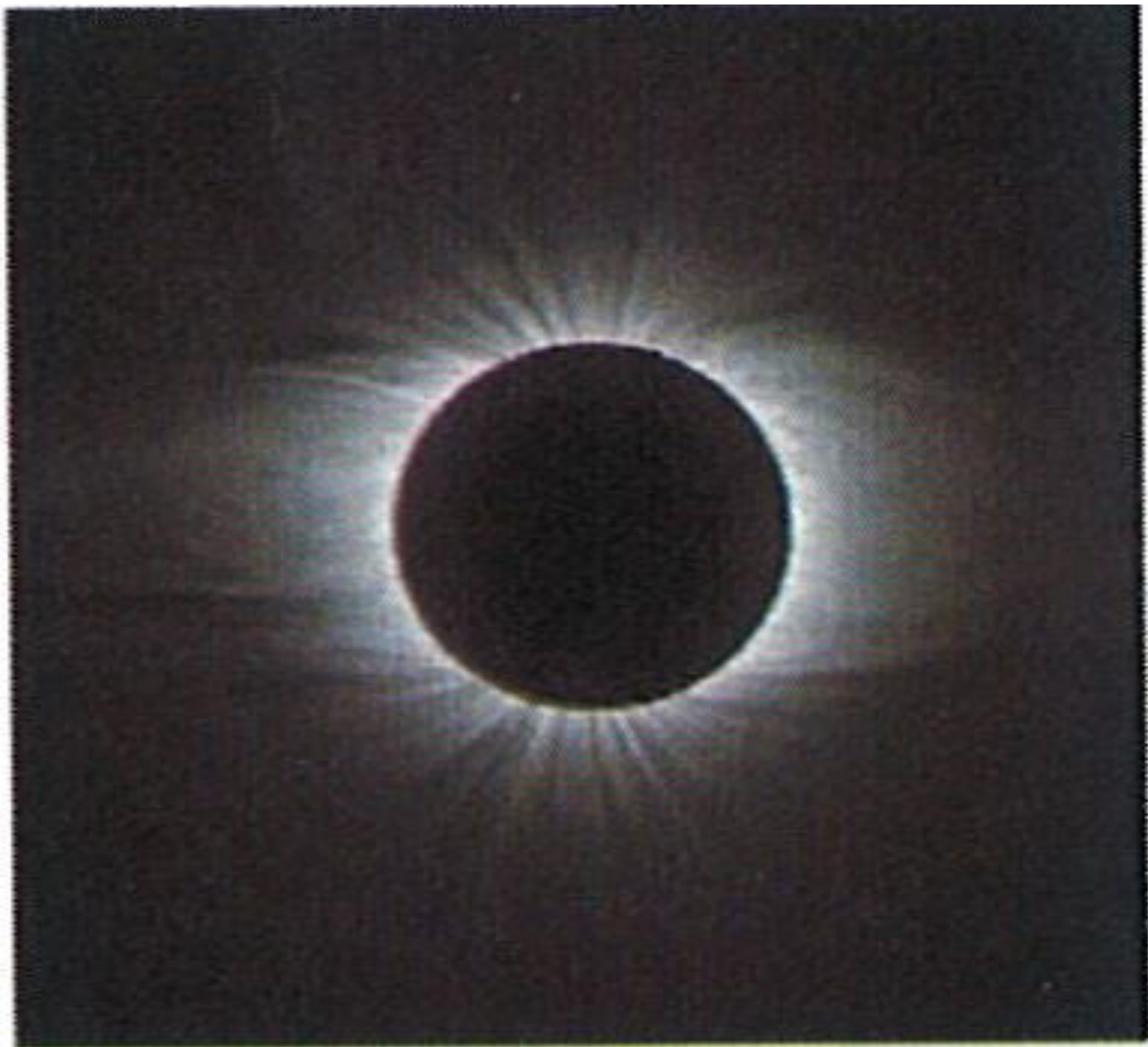


コロナ corona ラテン語で「冠」

太陽コロナ:太陽の外層を取り巻く希薄なガス 冠様

コロナウイルス:ウイルスの外側の形態

電子顕微鏡 コロナに似ている



皮膚病 見た目 差別の臓器(正常でも)

サメ肌

身近な似た形になぞらえて
俗称が出来上がる

シラコ(先天性白皮症)

象皮病

道化師様胎児

蒙古 蒙古斑 mongolian spot
モンゴル

アバタ

黒ん坊

ちじれ毛

新型コロナウイルス感染症 COVID-19

肺症状を主とした**感染症** 呼吸にかかわる病気
原因は新型コロナウイルス

感染に対する不安 一緒に居るのは嫌だ
感染者を遠ざける 感染者から逃げる 偏見・差別

新型コロナ

風評被害 職員4人に1人

熊本地域医療
センター調査

家族の出勤停止など

4～5月に看護師ら4人の新型コロナウイルス感染が確認された熊本地域医療センター（熊本市中央区）は、職員の26・3％に当たる109人が、福祉サービスの利用自粛を求められるなどの風評被害に遭ったとするアンケート結果を公表した。

アンケートは6月1～21日にインターネットで実施。全職員446人のうち414人（92・8％）が回答した。

被害で最も多かったのは、家族に対する出勤停止要請などで20・4％。「夫と、非同居の両親が2週間自宅待機となった」「義理の姉が職場から、出勤しても大丈夫かと問い合わせを受けた」などの

菌者扱いされ、精神的に耐えられず帰宅した」事例もあった。子どもの登園自粛要請は

診拒否も3・8％あった。自由回答では「自宅マンションで『あなたとはエレベーターに乗らない』と今でも言われる」「知り合いからスーパで明らかに避けられた」など心無い

（福井一基）

対応の一方、患者や地域住民から「励ましの言葉を掛けられた」との内容も多数あった。

同センターが全職員に実施したストレスチェックでは、3割が強いストレスを感じていることも判明した。

杉田裕樹院長は「未知のウイルスに対する恐怖心が過度の反応につながったのではないかと。風評被害が再び起きないよう望む」と話している。



©2010 熊本県 くまモン



熊本県からのお知らせ

県政情報は

検索



新型コロナウイルス感染症に関連した
感染者や医療従事者などへの不適切な扱いや
ひぼう ちゅうしょう
誹謗・中傷はあってはなりません

一緒につくろう！
一人ひとりを大切にする熊本



熊本県人権啓発キャラクター
「コッコロ」

正しい知識や情報に基づいて判断し、人権に配慮した適切な行動を心掛けましょう。

お問い合わせ先：熊本県人権同和政策課（人権センター） TEL096-333-2300

検索

差別実態聞き取りへ

政府分科会WGが初会合

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の偏見・差別とプライバシーに関するワーキンググループ(WG)の初会合が1日開かれ、西村康稔経済再生担当相は冒頭で「個人のプライバシー尊重と感染拡大防止の両立をどう成し遂げるか議論したきたい」と述べた。WGは実態把握のため医療・介護関係者にヒアリングを行い、11月をめどに対策などを公表する方針。

見は、積極的疫学調査に抑制的な効果を生じさせかねない」との見方も示した。冒頭以外では非公開。WG座長の中山ひとみ弁護士は会合後の取材に「感染防止に役立つ公表基準について考えていきたい」と話した。感染者

高い「1類感染症」が発生した際の公表の基
本方針を参考にすると、
う都道府県などに事務
連絡。現状は各地では
らつきがあり、WGの
発足経緯を記した文書
は「地方公共団体にお
いて見せしめの意図で
詳細な公表をした事
例」もあるとした。

誹謗中傷 心身に被害

飲食店に新型コロナウイルスの感染者が出
た虚偽の情報を広め
た。感染者

「1類感染症」が
発生した際の公表の基
本方針を参考にすると、
う都道府県などに事務
連絡。現状は各地では
らつきがあり、WGの
発足経緯を記した文書
は「地方公共団体にお
いて見せしめの意図で
詳細な公表をした事
例」もあるとした。

ワーキンググループで報告された 差別・偏見の事例	
三重県松阪市の中華料理店について、SNS上に「従業員が感染している」などと事実無根の書き込み、客足が激減 (県の資料などによる)	
岩手県で初の感染者の男性の勤務先に「クビにしたのか」などの電話、メールが相次ぐ (同上)	
クラスターが発生した松江市の私立高校を巡り、SNS上で誹謗中傷とともに生徒の写真が拡散される (同上)	
法事で帰省したパートの女性が勤務先の社長に「感染しているに違いない」などと言われ、除菌スプレーを吹き付けられる (連合への相談)	
一緒に旅行した娘が発熱した介護士の女性が、感染の心配はないと診断されたが、施設側から防護服を着て勤務するよう要求 (同上)	

ワーキンググループで
は、偏見や差別に基づ
く誹謗中傷について具
体的な報告があった。
被害を受けた人たちに
は心身の不調などが懸
念され、対策は急務だ。
「従業員が新型コロナ
ウイルスに感染して
いる」「店の周りは気
を付けた方がよい」。
4月、三重県松阪市内
の中華料理店につい
て、こんな書き込みが
会員制交流サイト(S

NS)で拡散した。事
実無根だったが客足は
激減。店側の告訴を受
け、県警は6月、男女
を名誉毀損の疑いで書
類送検した。
岩手県は7月29日ま
での約3カ月半、全国
唯一の「感染確認ゼロ
県」だった。県内初の
感染者の1人だった男
性が勤める会社がウェ
ブサイトで感染を公表
すると、同社には「男
性をクビにしたのか」
などの電話、メールが
相次いだほか、アクセ
ス集中でサイトは一
時、閲覧不能になった。
松江市では8月、私
立立正大湊南高でサッ
カー部員を中心に10
0人以上が感染するク
ラスター(感染者集団)
が発生。SNS上で「マ
スクも着けずコロナを
ばらまいている」との
中傷が生徒の写真とと
もに拡散された。

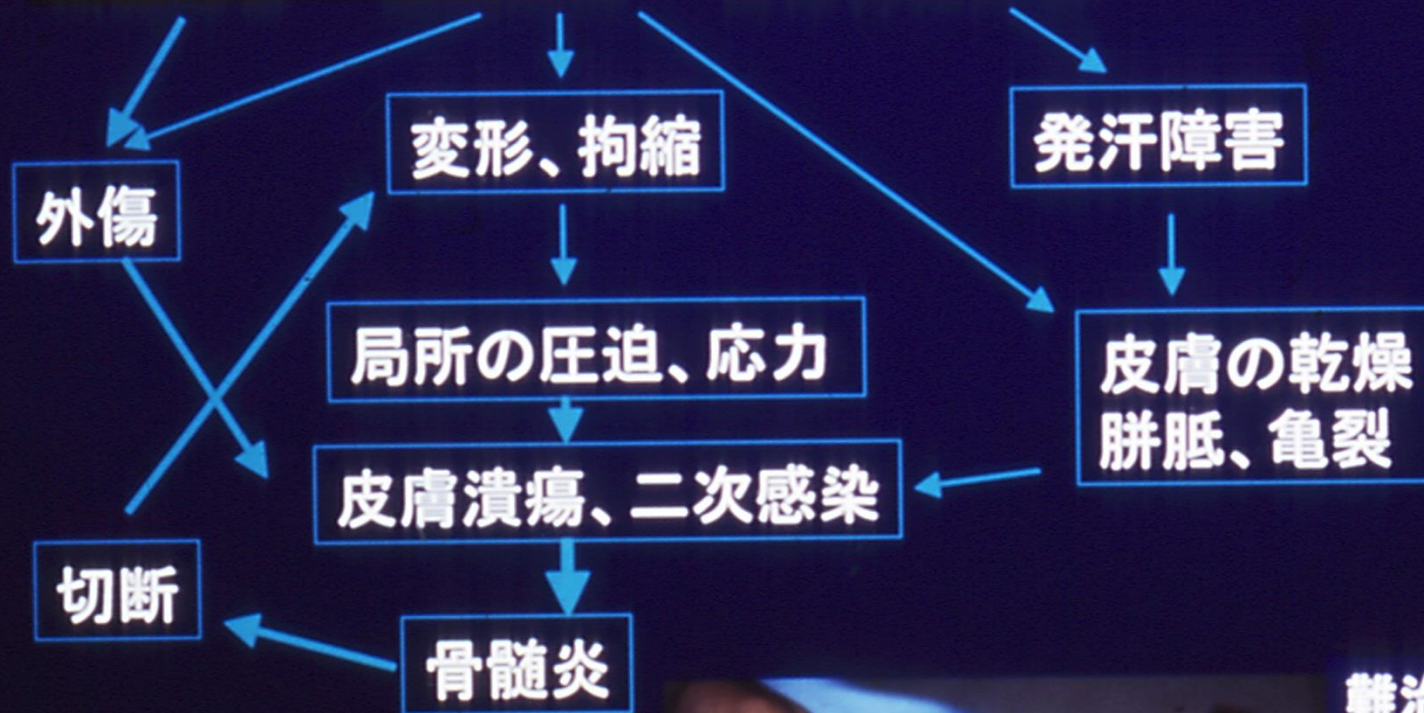
ハンセン病の歴史にみる偏見・差別

知覚障害

運動麻痺

自律神経障害

足穿孔症



難治性潰瘍を放置してSCCへ

尺骨／正中神経麻痺



タイ国 ノンソンブーン療養所の症例

ヘブライ語	ツアーラハト	－白を意味する
ギリシア語	Lepra	剥ぐ、鱗片
英語	leprosy	
ドイツ語	Aussatz	隔離
日本語	癩	

『日本書紀』	(612年)	白癩
大宝律令	(705年)	惡疾
『令義解』	(833年)	惡疾＝白癩

天刑病

癩病(らい病)・・・現在は使わない

└ 「ハンセン病」

- 家族にらい病
- 血筋
- きたない
- 天刑病

同調圧力

地域や職場などで、合意形成過程で少数意見を有する者に、多数意見にあわせるよう暗黙の裡に強いること。

村八分にされた
患者を隠す
患者を追い出だす

村八分

成人式

結婚式

出産

病気

新改築

水害時

年忌の法要

旅行

葬式

火事

16

Gerhard Henrik Armauer Hansen

【1841～1912】

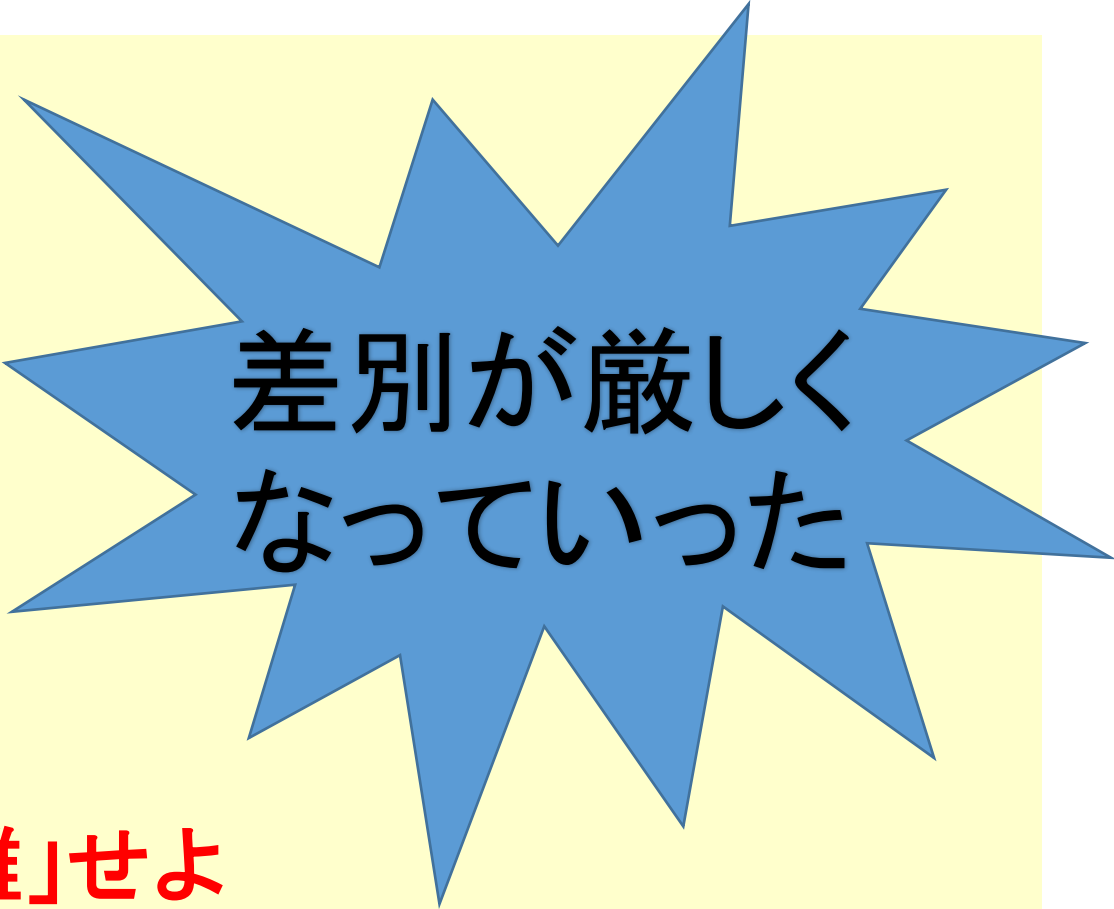
Hansen disease

Hansen病



らい病は感染症である

- 細菌が見つかった(らい菌)
- 天刑病ではない
- 我々にも伝染(感染)する病気
- もっと厳しく追い出せ もしくは「隔離」せよ



差別が厳しく
なっていた

ハンセン病

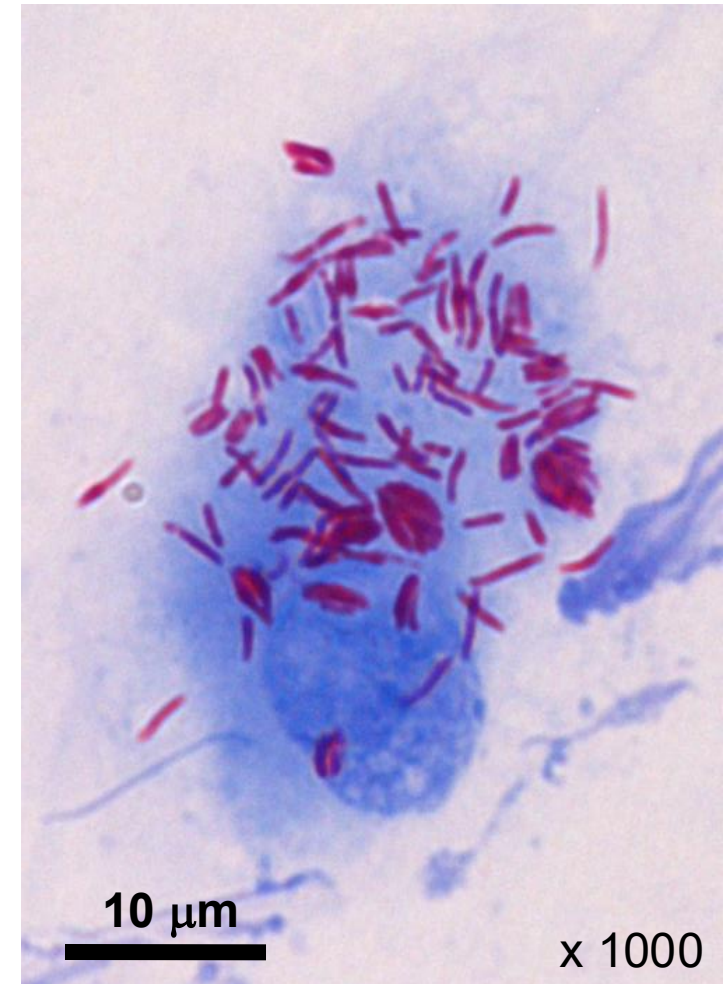
- 抗酸菌の一種であるらい菌 (*Mycobacterium leprae*) によっておこる慢性感染症。
- 主に(免疫能が低い)幼少時に多菌型患者と濃厚に接触することで感染するのではないかと考えられている。
- らい菌は主に組織球(真皮)とシュワン細胞(末梢神経)の細胞内(ファゴゾーム内)に寄生(潜伏?)する。
 - ・・・宿主依存性が強い(自分では生きられない)

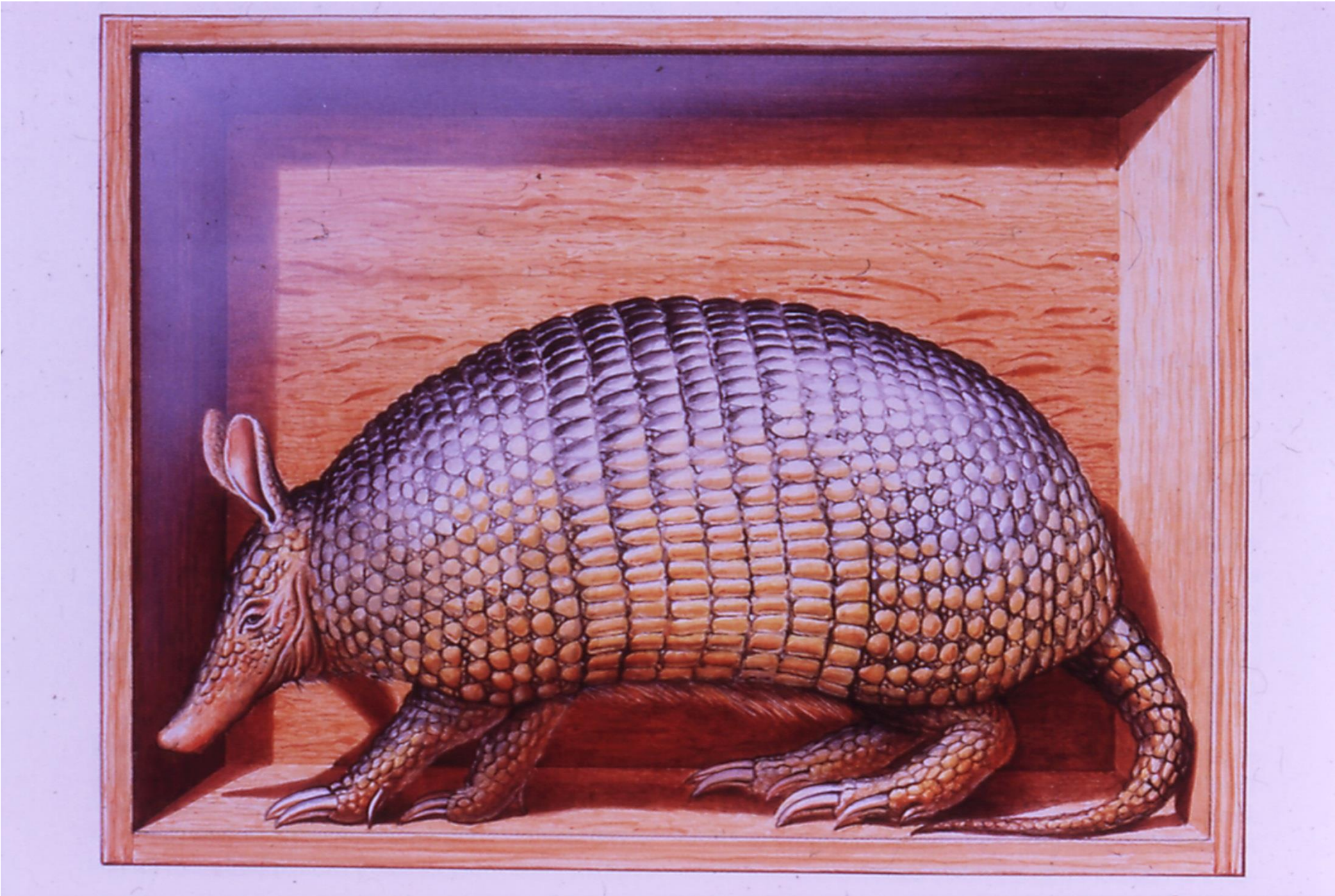
抗酸菌：Mycobacterium

(好酸菌) (acid-fast bacteria)

ドメイン (domain) : 細菌 *Bacteria*
門 (phylum) : 放線菌門 *Actinobacteria*
綱 (class) : 放線菌綱 *Actinobacteria*
目 (order) : 放線菌目 *Actinomycetales*
科 (family) : マイコバクテリウム科
Mycobacteriaceae
属 (genus) : マイコバクテリウム属
Mycobacterium
種 (species) : らい菌
Mycobacterium leprae
(*M. leprae*)

グラム陽性、好気性、桿菌
(太さ : 0.3~0.5 μm 、長さ : 1~8 μm)









ハンセン病

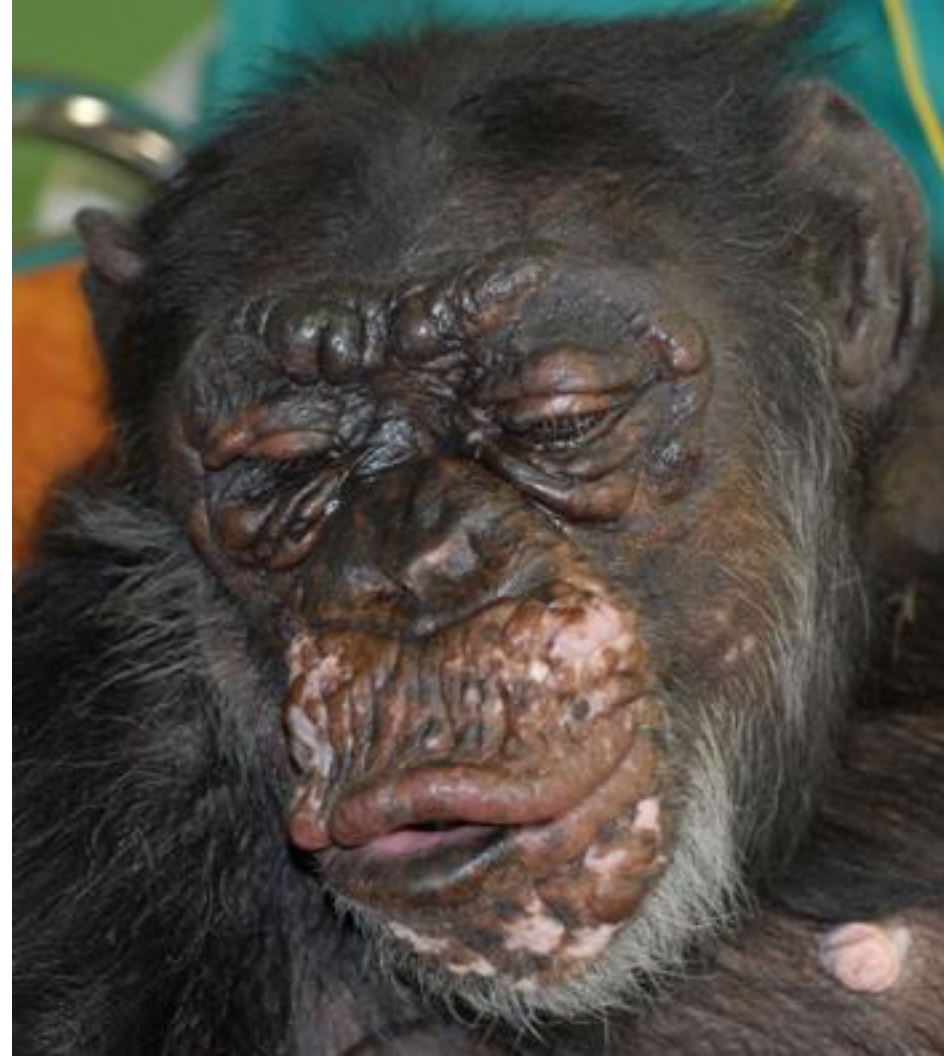
- らい菌は毒力が弱く
感染しても発病することはまれ
- 万一発病しても完治しうる病気
- 医学上は感染症
- 法律上（感染症法）では感染症ではない

ハンセン病を発症したチンパンジー、ハルナ（世界で4例目）

2008年5月16日



2009年5月13日



ハルナ、31歳(推定)、女性

1978年(推定): 西アフリカ、シエラレオネで出生。

1980年(2歳): 日本に輸入され某大学でB型肝炎研究に使用。

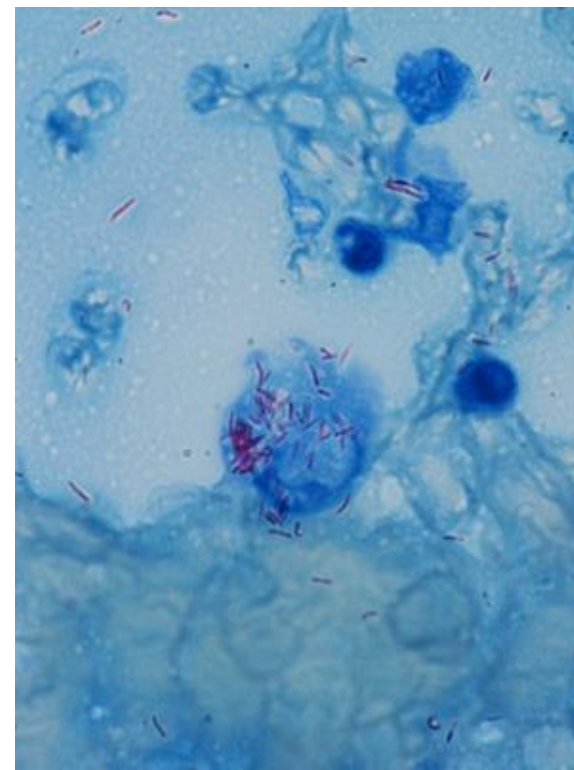
1986年(8歳): 某企業にてC型肝炎研究に使用。

2000年(22歳): 実験から解放されチンパンジーサンクチュアリ
宇土に移動。

2009年5月(31歳): **ハンセン病**疑い。抗菌薬
投与開始。

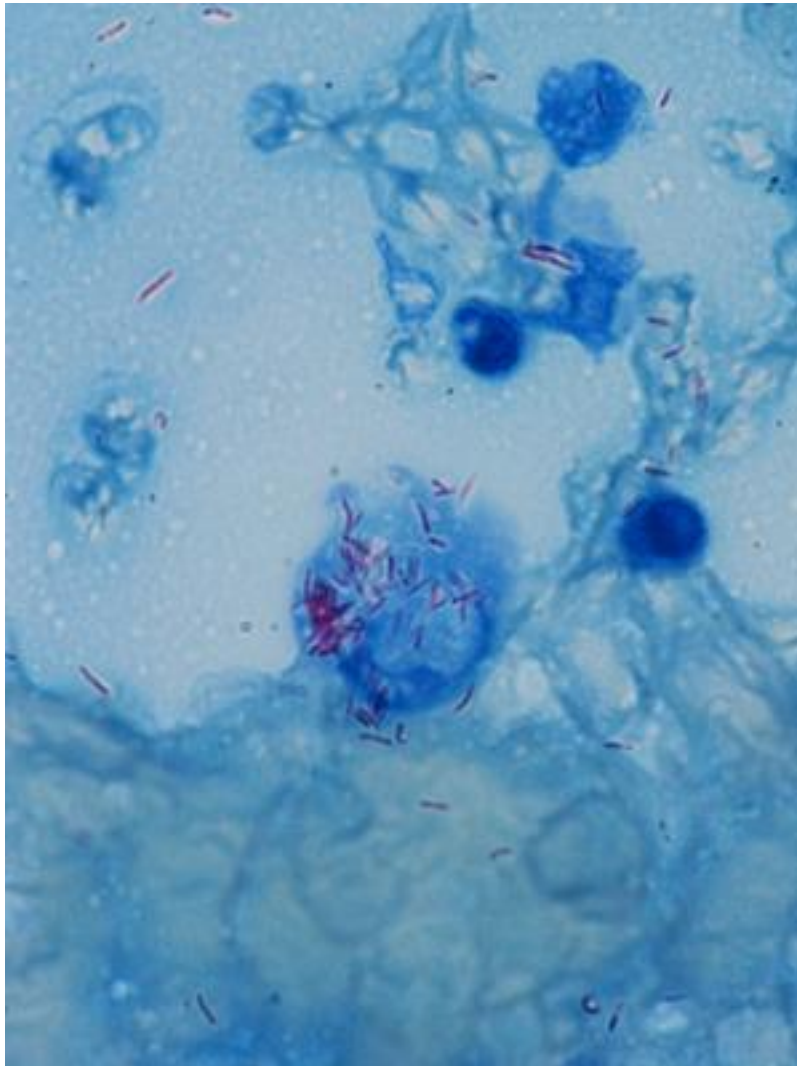
2009年6月(31歳): 確診後WHO **MDT**開始
(果物やジュースにまぜ
るなどして面前投与)。

2010年5月(32歳): 治療終了。

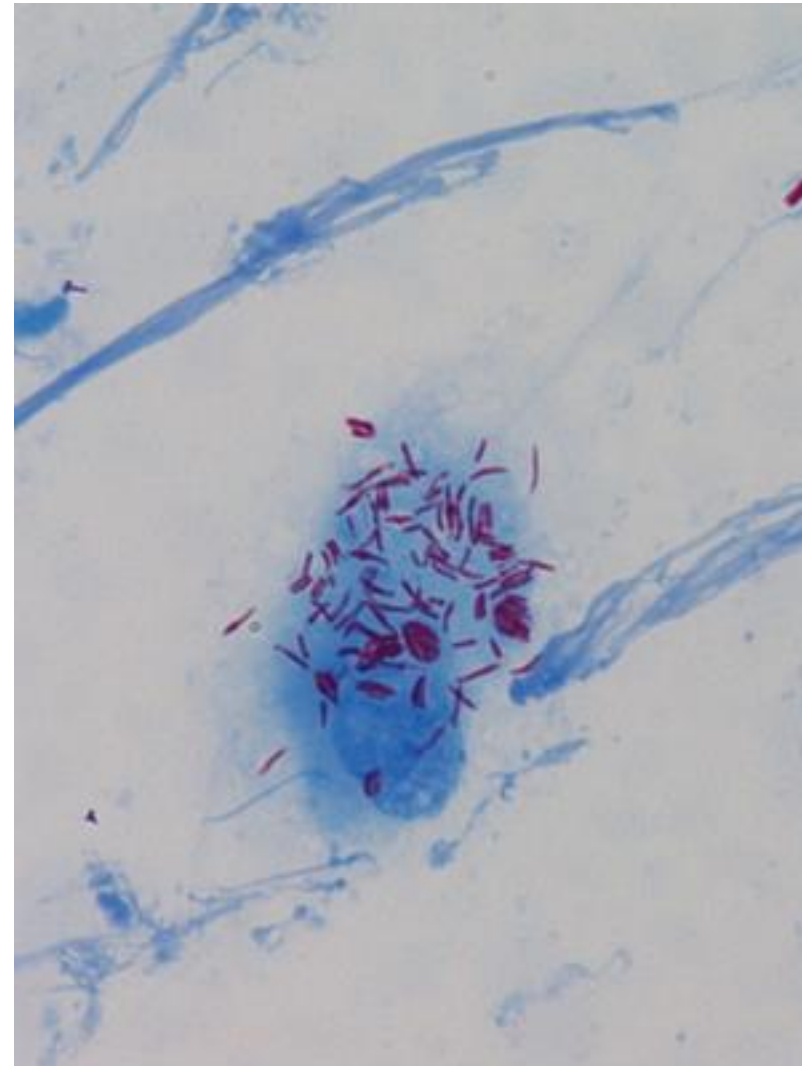


初回検査時
(2009年5月13日)

前腕皮膚スタンプ



鼻腔スワブ



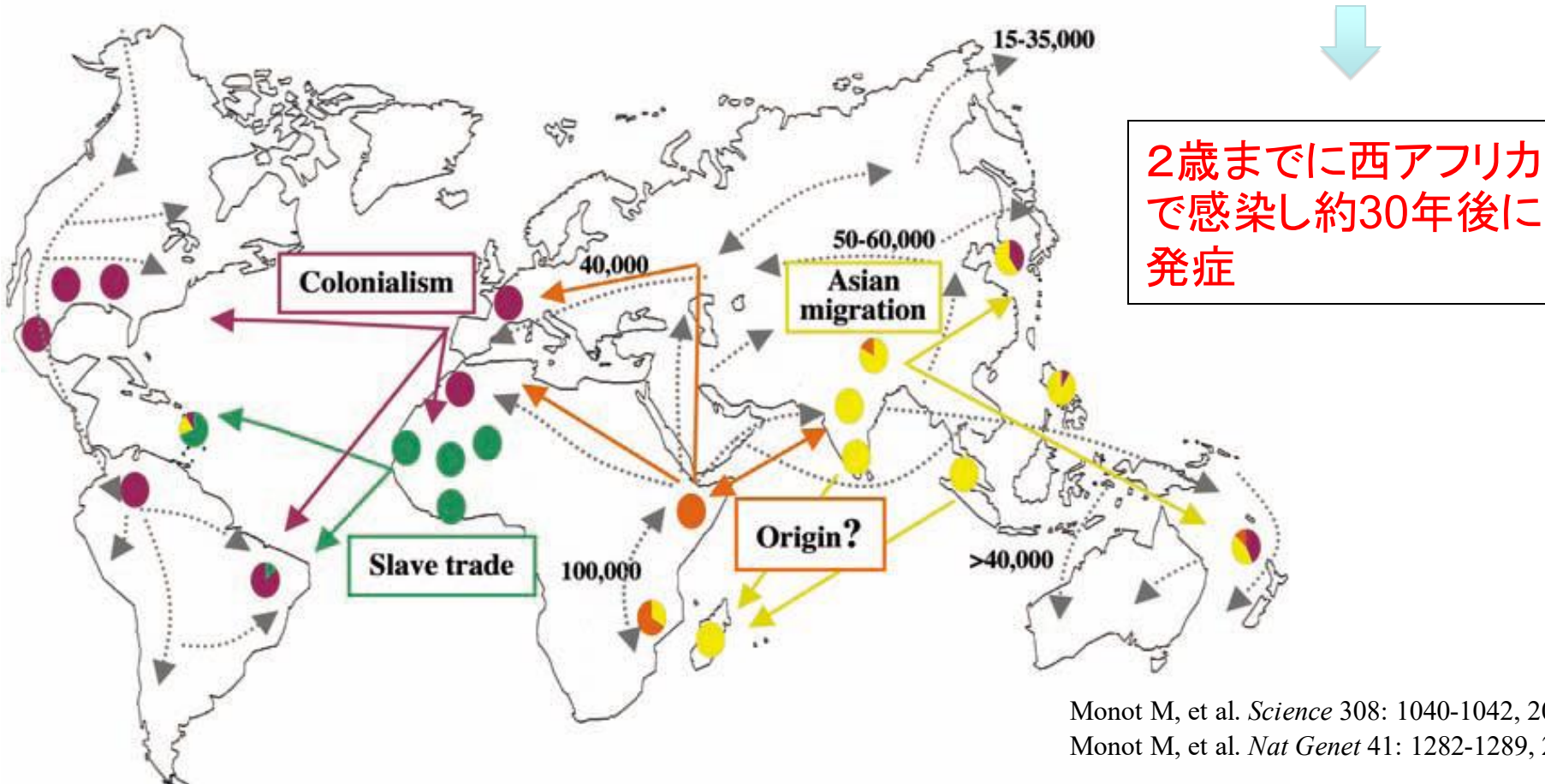


らい菌ゲノムDNAの一塩基多型(SNP_s)の解析

14,676 1,642,875 2,935,685

ACCTG	GCCTG	CGAGG	SNP-type1
ACCTG	GCTTG	CGAGG	SNP-type2
ACCTG	GCTTG	CGCGG	SNP-type3
ACTTG	GCTTG	CGCGG	SNP-type4

T T C ... Type4



Monot M, et al. *Science* 308: 1040-1042, 2005.
Monot M, et al. *Nat Genet* 41: 1282-1289, 2009.

治療経過

2009年

5月15日: RFP 450mg、OFLX 600mg

6月 1日: WHO MDT (DDS 100mg & CLF 50mg/day,
RFP 600mg & CLF 300mg/month)

6月19日: 顔面の結節改善

10月 8日: 定期検診時に全麻下にて検査施行(下写真)
スメア・皮膚生検で抗酸菌染色陽性、PCR陰性
鼻腔スワブは抗酸菌染色陰性、PCR陰性

2010年 7月:

皮膚病変の増悪・再発無し
末梢神経障害を疑わせる所見無し
全身状態良好
MDTは1年間で中止



2009年5月13日



2009年6月19日



2009年7月31日



チンパンジー 余生でも医学に貢献

ハンセン病は乳幼児期に感染して長い潜伏期の後に発症することを、国立感染症研究所ハンセン病研究センターの鈴木幸一室長らがチンパンジーで突き止め、鹿児島市で開かれた日本ハンセン病学会で29日、発表した。

このチンパンジーは三和化学研究所チンパンジー・サンクチュアリ・宇土(熊本県宇城市)で暮らす推定32歳(人間の50歳相当)の雌「ハルナ」。アフリカ西部のシエラレオネ生まれで1980年に日本に輸入され、肝炎研究の実験に使われた。2000年に実験から解放され、余生を送っている。

昨年1月に顔が腫れてぶつぶつした結節ができ、同サンクチュアリの



果物を食べるチンパンジーの「ハルナ」21日、熊本県宇城市(三和化学研究所チンパンジー・サンクチュアリ・宇土提供)

ハンセン病の長期潜伏 実証

肝炎研究を引退
熊本の「ハルナ」

獣医師鶴殿俊史さんが皮膚を採取して同研究センターに検査を依頼し、ハンセン病と確認した。

鈴木室長らは病原菌のDNAを分析し、アフリカ西部で人間から分離されている菌と同一と判明した。同時期に輸入されたチンパンジーや、同じケージで飼われた個体に感染はなく、研究グループは「ハルナはアフリカ西部で感染し、30年近い潜伏期を経て発症した」と結論づけた。

ハルナは昨年6月から1年間、治療薬を投与され、完治した。石井則久・同研究センター長は「肝炎研究に寄与したハルナが、引退後に再びハンセン病医学に貢献してくれた」と話している。

隔離政策

- 明治40年(1907)

「癩予防に関する件」という法律が制定された。

- 隔離のために全国に5つの癩療養所

その一つが菊池恵楓園

映画「厚い壁」

ハンセン病隔離政策の経緯

- 明治40(1907)年:「癩予防ニ関スル件」制定
- 昭和6(1931)年:「癩予防法」制定
- 昭和28(1953)年:「らい予防法」制定
- 平成8(1996)年:「らい予防法の廃止に関する法律」制定
- 平成13(2001)年 熊本地裁:国の隔離政策違憲判決
- 平成20年(2008):「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」

成立

ハンセン病問題基本法の基本理念（第3条）

何人も、ハンセン病の患者であった者等に対して
ハンセン病の患者であったこと又はハンセン病に
罹患していることを理由として、差別することその
他の権利利益を侵害する行為をしてはならない

（平成20年）

無らい県運動

熊本県「無らい県運動」検証委員会

「熊本県では本格的に「無らい県運動」が展開していくのは1934（昭和9）年になってからのことである。この「無らい県」を実現するため、患者を摘発して療養所に送り込もうとする官民一体の運動が「無らい県運動」であった。」 住民の密告

熊本本妙寺

患者集合地

本妙寺部落の手入れ



無らい県運動などのハンセン病政策
によって産み出された差別・偏見は、
それ以前にあったものとは明らかに性
格を異にするもので、ここに、今日まで
続くハンセン病患者に対する差別・偏見
の原点があるといっても過言ではない。

熊本地裁判決

差別・偏見の対象となりやすい条件

- ① 遺伝性疾患あるいは遺伝性と信じられている疾患
- ② 死亡率の高い疾患
- ③ 難治性の、あるいは慢性の疾患
- ④ 感染症、とくに「恐ろしい」伝染病
- ⑤ 外見上の脱落・変形・変色を伴う疾患
- ⑥ 浸出液・異臭を伴う疾患
- ⑦ 肉体的に能力が劣っていると思われる疾患・機能障害
- ⑧ 精神的に能力が劣っていると思われる疾患・障害
- ⑨ 不道徳とみなされている疾患
- ⑩ 宗教・慣習によりその社会集団でのみ特別視される疾患

強制隔離などにより強制的に切られた「絆」 (絆切れ病)

家族との絆

偽名

次世代との絆

世間(地域社会)との絆

No. 15

進歩のあと



学校名

小學校

学校長名

新井

担任氏名

第6年

組

児童氏名

出席記録

欠席はたとえ短時日であつても学校でのお子さんの發達をさまたげます

学期 月		I				II				III			計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
日数	回数	別												
出席	日数		17	25	13	25	10	19	24	26	26			
欠席	日数		0	0	0	0	0	0	0	0				
遅刻早退	回数													
備考														

学校と家庭との連絡

学期	I	II	III
学校から			
父兄から			

学期	1	2	3
担任印			
保護者印			

人権被害

- 誰もがどこにでも好きなところに行く権利がある。
- 誰もが人間らしい扱いを受ける。
- 誰もが自分が住みたいところで生活することができる。
- 誰もが病気によって差別されてはならない。
- 誰もがそれぞれの人格を尊重され、生きる権利がある。
- 誰もが結婚し、家族を築く権利がある。
- 誰もが生まれながらにして平等である。

ハンセン病のない世界

(笹川記念保健医療協力財団 元常務理事・医療部長 湯浅 洋)

- ・公衆衛生上
- ・臨床医学上

・社会問題上・・・21世紀いっぱいかかる

これにチャレンジしましょう！！

ハンセン病差別

ハンセン病差別には、
加害者、被害者、**傍観者**
という構図が存在する。

傍観者をなくすためには何が大事か、
これからも考え続け、
答えを行動に移してほしい。

菊池恵楓園自治会長 2012年

差別の海の構造

激しい差別の波
(当事者あるいは少し距離接近)

同情の穏やかな波(傍観者)

無関心

波のない海底

ハンセン病でも、 コロナパンデミックでも 地震でも……

風評被害

学校では

「先生、 友達が触っちゃった鉛筆を消毒してください」

親の倫理観→子の倫理観に感染

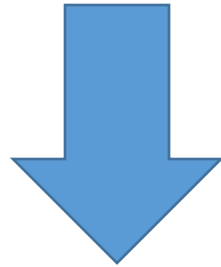
風評被害・・・感染の不安 不安の感染 (東京工業大学准教授 西田亮介)

一貫しない情報
メディアによる増幅
同調圧力に基づき 「みんながあなたを見ている」
善意に基づき
正義感に基づき

匿名 **SNS**

テレビ・新聞などのマスメディア

「正しく恐れて下さい」



「正しい情報を下さい」

寺田寅彦 「小爆発二件」

「昭和十八年月四日の朝、信州軽井沢千が滝グリーンホテルの三階の食堂で朝食を食って、それからあの見晴らしのいい露台に出てゆっくり休息するつもりで草に点火したとたんに、なんだかけたたましい爆音が聞こえた。・・・」

浅間山の爆発

「ものをこわがらな過ぎたり、こわがり過ぎたりするのはやさしいが、正當に怖がることはなかなかむづかしいことだと思われた。〇〇の〇〇〇に対するのでも△△の△△△△に対するのでも、やはりそんな気がする」

正しい情報を誰が伝えるか

「パブリック・インテレクチュアル（公益法増進に貢献する知識人）」

「専門家には人々を教育する責任がある。有権者には学ぶ責任がある。どれだけ専門職が助言したにかかわらず、国の直面する重要な政策選択の方向を決めるのは国民だ。・・・専門家には力を貸す義務がある。」

トム・ニコルズ（高里ひろ訳）：『専門知は、もういらぬのか 無知礼賛と民主主義』、みすず書房、2019

偏見と差別に対する妙薬

教養を身につけること

教養が身についたとは（元一橋大学学長 阿部謹也）

他人の生き方を認めること

他人に優しくできること

学びの重要性

(熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会委員長 内田博文)

足を踏まれた人は「痛み」を肌で感じるのに対して、他人の足を踏んだ人は「痛み」を感じない。そのために、他人の足を踏んだことに気づかない場合が少なくありません。被差別の場合もこれに似ています。差別者はそのことを認識していない場合が少なくありません。

学ぶことによってはじめて自らが差別者であることに気づきます。差別者からの脱皮を図ることになります。

ハンセン病元患者さん 中 修一さん

「なりたくてなった人はいない」

「自分もなるかもしれない」という当事者意識が大切

菊池恵楓園歴史資料館

「あなたはわたし」

アルベール・カミュ 『ペスト』 (1947年)

タルーという青年に、医師リウーが問います。
「平和に到達するために取るべき道は」

「あるよ。共感ということだ」

共感：フランス語でsympathie(サンパティイ)
英語でsympathy

sym: 一緒に pathie:共に苦しむ

(中条省平:『100分で名著 アルベール・カミュ ペスト』)

新型コロナ感染症をきっと克服する

病気を克服するという事は身体的病態が治癒することだけではない。
後遺症の方への治療そして理解(身体的、精神的)も必要です。

偏見や差別が続くかぎり新型コロナ感染症を克服できたとは言えない。

ハンセン病における状況と同じです。

偏見・差別をしない、させないを あなた自身で！

熊本県健康づくり憲章

～^{すこ}健やかくまもと肥後六花～



【椿】 (花言葉：理想の愛)

私たちは、健やかに育ち、元気に働き、そして安らかで生きがいのある老後を過ごせるくまもとづくりを推進します。



【菊】 (花言葉：高尚、高潔)

私たちは、健やかな生活習慣を通して病気の予防に取り組めます。



【花菖蒲】 (花言葉：優しさ、優しい心)

私たちは、心身の病気や障がいがあっても安心して暮らせるくまもとづくりを推進します。



【芍薬】 (花言葉：清浄)

私たちは、水と緑をくまもとの誇りとし、食の安心・安全な環境づくりを推進します。



【山茶花】 (花言葉：困難に打ち勝つ、ひたむきさ)

私たちは、ハンセン病や水俣病の歴史に学び、その教訓を活かした健康文化を推進します。



【朝顔】 (花言葉：約束、明日もさわやかに)

私たちは、豊かなくまもとを次の世代につないでゆくことを誓います。

平成26年2月10日
熊本県健康づくり県民会議

